

# 社会福祉法人 かしの木会 くず葉学園

## 令和5年度 事業計画

### はじめに

世界情勢は、ウクライナ侵攻が1年も続きとどまるところを知らない。温暖化の影響による災害激化や二極化した対立構造も激しさを増し、防衛力の強化が叫ばれている。障害のある弱者の幸せのためには、平和を願うのみである。

コロナに関しては、令和4年2月に当園入所施設にコロナ陽性が見られ10名が、令和4年7月には42名が確認された。令和5年1月には通所施設で22名が確認され、この1年間に3回のクラスターが発生したが、幸い重症化は免れた。政府は令和5年5月から、インフルエンザと同様の感染レベルに移行させるとの事であるが、インフルエンザと同様、基礎疾患のある利用者への十分な配慮は継続しなければならない。しかし猛威を振るった新型コロナが、3年間で一応の区切りと考えられることは、一抹の希望が見えて喜ばしい。

令和5年度予算が決定された。障害保健関係は約2兆円で令和4年度の約5%増である。その中で障害福祉サービスは約1兆5千億円で、約5%増となっている。毎年増額されているが、ウクライナの影響による電力高騰をはじめとした物価高対策、防衛力強化等があり、財政健全化が大きな課題となるなか、福祉施設運営の厳しい状況も予測しておかなければならない。更に、入所施設の定員削減化とグループホーム設置の地域化誘導策も顕著になっており当法人の方向性の検討も必要である。

令和4年10月から、施設職員の低賃金解消施策として「ベースアップ等支援加算」の恒久化が実現し、令和4年2月から月平均9千円の賃上げ政策が実施されたが令和5年度も継続される。また、「処遇改善加算」「特定処遇改善加算」「ベースアップ等支援加算」の3加算は事務の効率化を図るため一元化が検討されている。

当園に目を向ければ、令和3年は天皇陛下からご下賜金を拝受し、令和4年は通所活動棟が落成し、加えて飯田雅子理事長の「寄り添い支援のまなざし」が記念出版された。くず葉学園は約40年の歴史を重ねての現在であり、課題は山積しているがこれからに向けての歩みを、さらに進めることになる。

令和3年度より「中期事業計画重点6項目」を定めたが、令和5年度は最終年度であり結果を出さなくてはならない。

利用者中心を掲げ、足元をしっかりと固め、地域から選ばれる評価の高い学園を、全職員が一致団結して目指していきたい。

## 総論

### 中期事業計画から連動する令和5年度重点目標

#### 1. リスクマネジメントについて

令和5年度末を策定期限とする「BCP（事業継続計画）」の策定を進めている。災害時のBCPはほぼ策定でき、残すのは感染症対策としてのBCPの策定である。この3年間のコロナ禍におけるデータ蓄積を加味した内容で、且つ実態に即したものにまとめ活かすことになる。

なお、本館の老朽化に対応した外壁改修は急務だが、行政からの補助金の使途に適合せず法人支出となるため資金の捻出を進める必要がある。

また、各施設の不具合を確認して、修繕費の確保を進めていきたい。

#### 2. 「高齢化」・「対応の難しい課題」について

相談支援利用者の多様化、通所・入所それぞれ利用者の加齢・高齢による機能低下と疾病対応、家族の「高齢化」など「対応の難しい課題」については、それぞれの事業所で、的確な対応を図り着実に進めていく。

#### 3. 通所事業所について

当学園を日中のベースとして、地域で豊かに暮らすことができるよう支援力を高めること、また、新棟の完成により整った環境の提供と、グループワーク・ケースワーク・ファミリーワークを整え、選ばれる通所事業所を目指し継続的課題として進めていく。

#### 4. グループホームについて

新型コロナウイルスのため思うように活動できなかった2年間だったが、協力者の支援があり、令和5年度はグループホームの実現を図ることができ見通しが得られたので、全力で取り組みたい。

#### 5. 人材マネジメント

人材確保の対策を様々に工夫し、「働きがいと働きやすさ」を追求する。キャリアパス研修委員会による改訂版を具現化し職員育成を強力に進める。

#### 6. 第三者評価

全国社会福祉協議会の第三者評価を受審する予定だったが、全国社会福祉協議会が厚労省に対して意見具申を行い、その答申が出ていないので、結果がでてから検討する。

#### 7. その他

地域交流センター3Fについては、使い勝手が悪く6室ある居室と大部屋(14畳)が未使用状態となっている。短期入所用居室等での利用も考え、本館から平行移動できるよう連絡通路の構築を検討したい。

## 各論

### 1. 相談支援事業所

#### ・リスクマネジメント

相談支援では、利用者や家族等との面談・事業所訪問・ケア会議等、直接顔を合わせることが業務の主となるため、感染症対策におけるリスクマネジメントが重要な課題である。

基本的には相手（利用者や事業所）の意向に添い、面談を希望されない場合は、電話やオンライン等を活用して実施する。

また、訪問や聞き取り等により得た外部事業所等の対策や工夫を、通所・入所に情報提供することも継続する。

#### ・「高齢化」・「対応の難しい課題」

通所・外部においては、家族の高齢化や家庭での介護困難な状況に依りて、サービス提供事業所との連携や、新たなサービスの利用等で対応できるよう支援する。

また、本来の本人支援という観点だけではなく、ファミリーサポートという観点を持ち、関係する行政・事業所・成年後見人・家族の支援者（ケアマネージャー等）と連携し、課題の解決にあたる。

困難事例については、基幹相談支援センターのアドバイスや協力を得るなど、相談支援における地域の組織的なシステムも活用しながら進める。

#### ・人材マネジメント

専任が交代となる。引継ぎを確実にし、外部利用者・家族・事業所等との信頼関係を構築し、実践の中で相談支援における専門性を高める。兼務は係長以上の職員であるため、それぞれの経験や専門性を活かし、互いの支援を確認しながら、気づきや振り返りを行うことで専門性を高めていく。

### 2. 入所支援事業所

#### ・リスクマネジメント

リスクの高い重点場面の支援体制を構築する。日常生活における食事や入浴他、夜間における緊急対応や自然災害による避難体制などあらゆるリスクの支援マニュアルを確立する。また、新型コロナウイルス等の感染症対策は継続していく。

#### ・「高齢化」・「対応の難しい課題」

高年期に即した、安心安全で快適な暮らしの提供を第一義とし、利用者

の生きる力、一人ひとりの個性や自立、そして笑顔あふれる心地よい暮らしの実現を図る。処遇が難しくなっている人については、その要因・対応の分析を行い、方向を見出すスタディを重ねる。

#### ・人材マネジメント

職員の人材確保が難しくなる中、効率的かつ柔軟な組織運営の充実を図る。そのためには、職員の働きがいのある、働きやすい職場の基盤を育み、築き上げていく。また、令和4年度の各クラスの「リーダー制」は一定の成果が見られた。引き続き、チームワークと全体調和と深化をはかりながら、効果的に人材育成と支援力向上を進めていく。また入所支援体制と入所生活介護の連携体制は継続しながら、深まりと広がりをもたす。

### 3. 通所支援事業所

#### ・リスクマネジメント

新型コロナの感染症法上の位置づけについて、政府の対策本部は、令和5年5月8日に今の「2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行する方針を決定した。ウィズコロナの取り組みをさらに進め、家庭・グループホーム・施設や地域といったあらゆる場面で日常を取り戻すことができるよう着実に歩みを進めていく。

しかし、感染症対策は丁寧に継続する。ご家族等に向けた情報は、一斉メール配信を活用し、漏れがないように電話支援も行っていく。

災害対策について、当園は土砂災害警戒区域に立地しているため、判断根拠を「気象庁危険度分布キキクル」からの情報を重視していく。利用者家族等に情報を提示する際は、メールやホームページの災害情報を活用していただくようにする。その際、こうした情報が得られない利用者家族においては、きちんと行き届くように家庭状況に配慮し対応する。

#### ・「高齢化」・「対応の難しい課題」

高齢化による家族機能の困難性が浮き彫りになる事例が増えている。本人・家族が安心できる生活拠点としての場づくりが喫緊の課題になる。様々な関係機関と連携を図って、課題を整理する。整理された内容をいかに具現化するかを担当者会議等で方向性を見定め実行につなげる。

地域生活を行っていくうえで、様々な状況下で関係機関との連携が増している。通所利用者の支援は、日中活動以外の家族支援も重要になる。

利用者・家族の課題の要因の把握と分析をおこない、必要な対応を進める。困難性は利用者・家族の高齢化のみならず、疾病や家庭機能の障壁があり困難さを複雑化させている。関係機関と日ごろからのネットワークを形成していくために、情報の共有を発信する機会を多く作っていく。

#### • 人材マネジメント

日々の事例を通して、係長は現場担当に「業務支援」「精神支援」「内省支援」の3本柱を適宜現場担当に提供をする。その為に係長の方が重要になる。係長育成は、課長が係長からの報告を受けながら適宜スーパーバイズをする。

令和4年度に整理した「キャリアパス」の運用により、職員育成の見える化をすることで効果的な人材マネジメントを図る。人事考課面談を通して、個々の育成課題に対する成長を促していく。

以上